

西部ガスと協働で、電力需給ひっ迫時の消費抑制に貢献

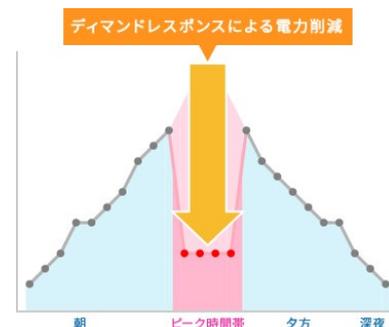
株式会社エナリス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:都築実宏、以下、エナリス)はこのたび、2022年度を対象とする調整力※(電源 I' 厳気象対応調整力)公募に関し、西部ガス株式会社(本社:福岡県福岡市、代表取締役社長:道永幸典、以下、西部ガス)と共に落札しました。これに伴い、2022年度の夏季・冬季の需給逼迫時に、ダイヤモンドリスポンス(以下、DR)による調整力の供出を行います。

エナリスは2016年度から、IoTを活用して体系的にDRを行うことでまとまった電力量を生み出す「VPP(バーチャルパワープラント)」実証事業に取り組んできました。2020年度には西部ガスが参画。今回の協業は、その成果の一つと言えます。

今回のDRでは、西部ガスの都市ガス製造工場が保有する負荷設備やグループ会社等が保有するガスコージェネレーションシステムなどの身近なリソースを活用。供出した電力は、エナリスを通じて調整力として提供します。

DRは、電気の供給状況に応じて電力ユーザーが電気の消費パターンを変化させることにより、需給バランスを保つことです。非効率なピーク電源を不要にし、将来的な発電容量の適正化と、安定した電力供給や調整コストの低減に寄与する仕組みとして期待されています。

電力ユーザーにとっては、DRで供出した電力を調整力公募や需給調整市場で取引することにより、新たな収益につながるという利点があります。また、調整力を提供することで、間接的に、発電量が不安定な再生可能エネルギーの拡大に貢献できます。



エナリスでは、より多くの電力ユーザーの方に手軽にDR/VPPに参加していただくために、お客さまの状況に合わせた柔軟なDR/VPPサービスを提供しています。例えば、蓄電池や自家発電機などの分散型電源を保有していないがDRに参加したい企業の方や、リソースはあるが小規模で調整力公募の入札容量の要件に満たない企業の方、分散型電源があるため制御システムを活用したいという企業の方など、あらゆるニーズに対応が可能です。

エナリスは、エネルギーの効率的利用を通じてカーボンニュートラルに取り組みながら、人とエネルギーの新しい関係を創造し、豊かな未来社会を実現してまいります。

※調整力: 電気は常に需要と供給を一致させる必要があり、一致させるための調整に使う電力

▶参照: エナリスのDRサービス <https://www.eneres.jp/agent/service/demandresponse>

西部ガス発表リリース https://hd.saibugas.co.jp/news_release/detail/2022/nr003.html